

保存版

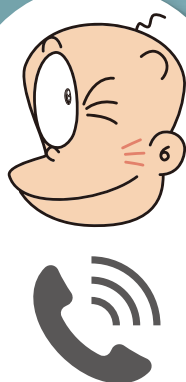
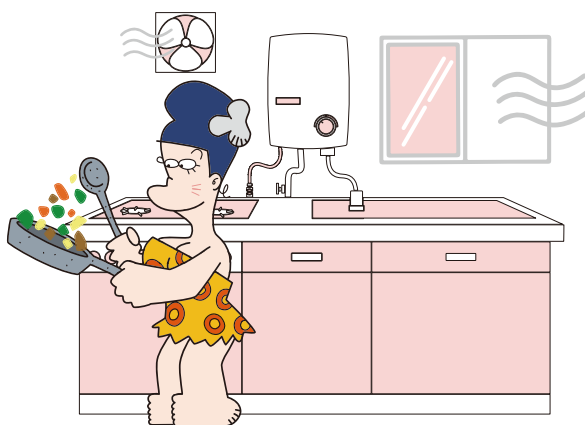
快適ガスライフの 基礎知識

— 安心してガスをお使いいただくために —



使用の際は…

換気
してください



気がついたら…

連絡
してください

- ガス臭い
- 警報器が作動したり
- 気がかりなこと など

ガス導管事業者へ連絡!

お名前、ご住所、ご近所の目標、
状況などをお知らせください。



ガス小売事業者

Gas One

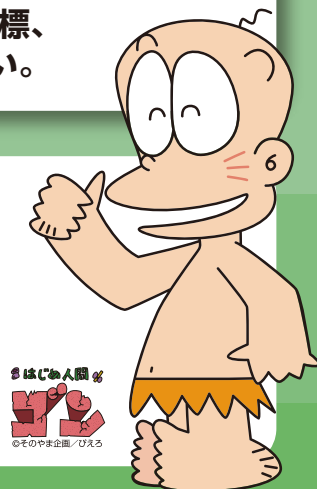
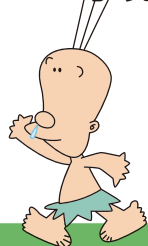
株式会社 サイサン

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-11-5



0570-041-313

※ガス漏れ、緊急時は一般ガス導管事業者の連絡先をご案内いたします

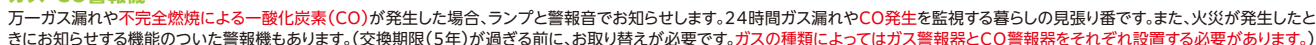


「快適ガスライフの基礎知識」は、ペーパーレスによる環境負荷軽減を目的に次回より電磁的方法（メール、WEB等）でのご案内に変更する場合がございます。この機会に簡単便利で色々な手続きも可能なPORTAL ONEにご登録ください。

こちらのQRから登録画面へお進みください▶
サイサンのホームページからもご覧いただけます。
<https://www.gasone.net/portal-one/>

※ドメイン指定受信などを行っている場合は、ご登録の前に「portal-one.net」を受信可能にしてください。
※WEBで確認が出来ないお客さまには引き続き書面にてご案内いたします。







ガス機器の点検と重要なお知らせ



① こんなところも要チェック

⚠️ ご注意

● ガス栓

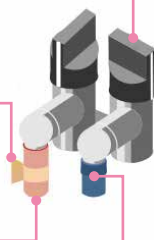
ガス機器が接続されていないガス栓を誤って開けないでください。

● ゴム管止め

ゴム管が抜けないようにゴム管止めをご使用ください。

● ガスソフトコード

ガス用ゴム管は耐久性に優れたガスソフトコード(白色系)をご使用ください。



● 接続面にごみなどの異物がないことを確認して確実に接続してください。

● ひび割れや硬くなったものはお取り替えください。

● 古いゴム管はお取り替えください。

● ゴム管は赤い線までキッチリ差し込んでください。

● ガス栓キャップ

使わないガス栓にはガス栓キャップをかぶせてください。

④ 煙突式風呂がま・湯沸器ご使用时には注意が必要です

一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

煙突や給気口など「給排気設備」に不備があると一酸化炭素中毒をおこし、重症の場合は死亡事故につながる恐れがあります。

煙突や給気口などをときどき点検してください。

煙突のずれや煙突に巻き付いている断熱材に穴が開いていないか、シミがないかを点検してください。異常を見つけた場合は、使用をやめて専門修理業者にご連絡ください。点検口がない場合は設置をお願いします。

使用中にイヤな臭いがしませんか。

使用中にイヤな臭いや目がチカチカする場合は、排気ガスがあふれている可能性がありますので、ただちに使用を中止し、ガス機器購入店または修理店にご連絡ください。

おすすめ
します

屋外設置などの安全機器にお取替えください。

屋外設置式や密閉式もしくは不完全燃焼防止装置付きの安全な機器にお取替えをおすすめします。

② 小型湯沸器ご使用时には注意が必要です

小型湯沸器は換気を十分に行ってください。

不十分な場合は一酸化炭素中毒により、死亡事故につながる恐れがあります。

換気をお願い

台所など屋内に取り付けられている小型湯沸器を十分な換気をせずにご使用になりますと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。ご使用になるときは、換気扇やレンジフードのファンを回すか窓を開けて換気をしてください。

火が消えたら

換気が十分でも使用中に火が消える場合は不完全燃焼している恐れがあります。下記の現象が生じた場合は、継続して使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒の恐れがあり、大変危険です。ただちに使用を中止してください。

- ご使用中、火が消える場合(安全装置が作動している可能性があります)
- 前板の塗装がすすで黒く変色した場合
- その他、ご使用中に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱などがある場合

危険です! おやめください

浴槽や洗濯機への給湯、シャワー、洗髪等による小型湯沸器の長時間の連続使用はおやめください。不完全燃焼の原因となり大変危険です。絶対におやめください。

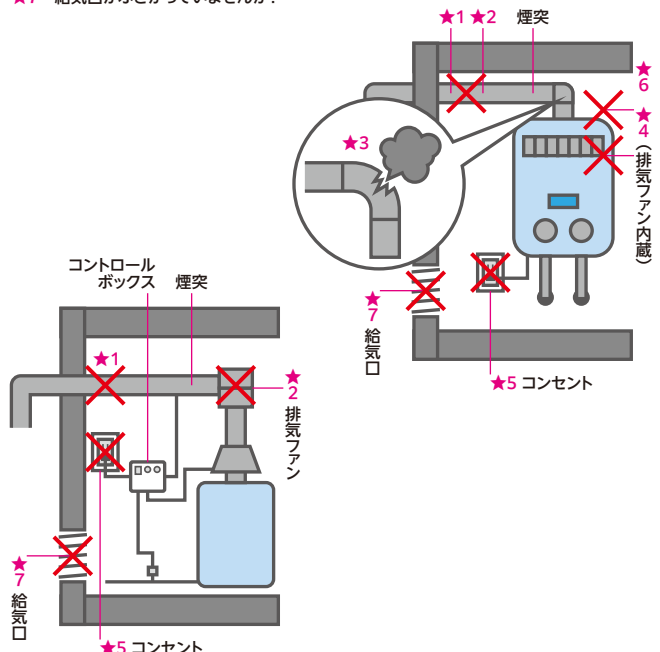
⑤ 排気ファンがついている煙突式風呂がま・湯沸器ご使用时には注意が必要です

一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

煙突や給気口など「給排気設備」に不備があると一酸化炭素中毒をおこし、重症の場合は死亡事故につながる恐れがあります。

煙突・排気ファンなどの「給排気設備」をときどき点検してください。

- ★1 鳥の巣などの異物等で詰まっていますか?
- ★2 固定金具がなかつたりグラついていますか?
- ★3 穴あきやずれはありませんか?
- ★4 ご使用時にファンが回転していますか?
- ★5 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか?
- ★6 機器の給気口にホコリが詰まっていますか?
- ★7 給気口がふさがっていませんか?



③ 浴室内に設置されている煙突式風呂がまご使用时には注意が必要です

一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

煙突や給気口など「給排気設備」に不備があると一酸化炭素中毒をおこし、重症の場合は死亡事故につながる恐れがあります。

煙突や給気口などをときどき点検してください。

煙突のずれや煙突に巻き付いている断熱材に穴が開いていないか、シミがないかを点検してください。異常を見つけた場合は、使用をやめて専門修理業者にご連絡ください。点検口がない場合は設置をお願いします。

使用中にイヤな臭いがしませんか。

使用中にイヤな臭いや目がチカチカする場合は、排気ガスがあふれている可能性がありますので、ただちに使用を中止し、ガス機器購入店または修理店にご連絡ください。

おやめください。

お風呂を沸かしているとき、換気扇を回さないでください。お風呂を沸かしているときやシャワーを使っているときに、台所や浴室内の換気扇を使用すると風呂がまの排気が浴室内に逆流し、一酸化炭素(CO)中毒を起こす場合があります。

危険

屋外設置などの安全機器にお取替えください。

屋外設置式や密閉式もしくは不完全燃焼防止装置付きの安全な機器にお取替えください。

お願い

⚠️

地震や台風などの自然災害や大雪の後には必ず煙突のはずれや、壊れないことを確認してからお使いください。停電や故障等でファンが稼働しない場合は、使用を中止してください。

おすすめ
します

屋外設置などの安全機器にお取替えください。

屋外設置式や密閉式もしくは不完全燃焼防止装置付きの安全な機器にお取替えをおすすめします。

⑥ 業務用にガスをお使いの皆さまへ 従業員の皆様でご確認ください

重要なお知らせ：店舗の経営者・店長・従業員の皆さまへ

ガス機器の正しい使い方をころがけ、安全で快適な厨房にしましょう

業務用のガス機器は、一般の家庭用と比較して、火力の強いものが設置されるのが特徴であり、ガスを多量に使います。そのことから、ガス機器の取り扱いを誤ってしまうと、危険な一酸化炭素(CO)中毒や火傷等の事故につながる恐れがあります。また、不特定多数の皆さまが来店されることから、実際にガスを扱っている方以外にも被害が広がる恐れがあります。ガス機器を使うときには必ず換気する等、日頃からガスを取扱う従業員のみなさま一人ひとりが、ガスの安全な使用に関して意識して頂けますことをお願いします。

ポイント1 必ず換気を！

ガス機器をお使いになるときは、必ず換気扇を回すか、換気装置を運転して換気してください。ガスが燃焼するときには、新鮮な空気が必要です。空気が不足すると不完全燃焼を起こして、一酸化炭素(CO)中毒の原因になります。



厨房内の熱や臭いを防ぐための、空調(クーラー等)や空気清浄機は“換気”になりません！ご注意ください。

ポイント2 ガス・CO警報機の取り付けを！

万一のガス漏れや一酸化炭素(CO)を検知した場合に、ランプと警報音でお知らせする「ガス・CO警報機」の設置をお勧めします。

【業務用換気警報機について】
家庭用ガス機器に比べてガス消費量の多い業務用ガス機器を使用する厨房において、換気が不十分な場合等の不完全燃焼による一酸化炭素の発生を検知し、人体への危険な影響を与える前に発報し換気を促します。電池式で100Vの電源が不要です。詳しくは、お近くのガス事業者へお問い合わせください。



ポイント3 日頃からガス機器・換気設備の定期的な清掃・メンテナンスを！

ガス機器の給排気口や換気設備の吸い込み口は、油やほこり等がたまりやすくなり、給気・換気不足になる恐れが生じます。日頃から“換気”を効果的に行えるような点検・清掃が必要です。またガス機器・換気設備は長い間使用していると経年劣化等により、事故の原因となることもあります。ガス機器メーカー等へ定期的なメンテナンスの依頼をお願いします。



業務用ガス安全システム

緊急ガスシャ断装置

ガス漏れなど、緊急事態が起こったとき、防災センターや守衛室などに設置された集中監視盤からの遠隔操作で建物全体のガスの供給をすぐにシャ断できる装置です。
大きな地震などの場合に、自動的にガスをシャ断するためには、感震器との連動が必要となります。

簡易自動消火装置

フード内などで火災が発生した場合に、自動的に消火する装置です。

操作器

防災センター

ガス管

ガスメーター

引込み管ガスシャ断装置

ガス漏れなど、緊急事態が起こったとき、地上からの操作により建物全体のガスをシャ断する大切な装置です。
上部に物をのせたり、埋めたりしないよう、ふだんからの日常管理をお願いします。

業務用自動ガスシャ断装置

閉店後などにメーターガス栓を閉める代わりに、ボタン操作だけでシャ断弁を開閉できる装置です。また、内蔵した安全機構によりシャ断弁を開けるとき、ガス栓やガス機器のつまみなどがまちがって開いていないか、自動的に確認するもので、ガス漏れ事故を未然に防ぐことができます。建物内のテナントごとの、装置をおすすめします。

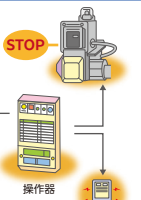
ガス漏れ警報
シャ断

感震器連動
シャ断

ガス圧低下
シャ断

漏えい
検知機能

消火装置連動
シャ断



ガス警報器・警報設備

- 万一屋内でガス漏れが起きた場合、漏れたガスをすばやく検知して知らせるガス警報器や警報システムの設置をおすすめします。
- 警報システムは、防災センターなどにガス漏れの発生場所を表示するとともに、警報音で周囲の人々にも警報します。
- 特定地下街等及び特定地下室等ではガス漏れ警報設備が、超高層建物、特定大規模建物及び中庄の設備を有する建物ではガス警報器または自動ガスシャ断装置の設置が、法令で義務付けられています。



排気ダクトを使用される場合のご注意

ガス機器は、排気ファンが稼働している時間内でご使用ください。
共用機械排気を行っている建物では特に注意が必要です。
ガス機器の排気が十分に行われないと、排気ガスが室内にあふれて、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

伝熱火災にご用心

壁との距離は十分お取りください。壁の表面がステンレスやタイル張りでも、下地が木材の場合は、伝熱火災を起こすことがあります。

ダクト火災にご用心

ふだんからフード内の清掃を心がけましょう。ダクト内や換気扇の油滴やホコリは、ダクト火災の原因になります。

閉店・退社時にはガス機器を止めて

- 閉店または退社されるときは、ガス機器が完全に止まっていることを確認しましょう。
- 使用していないガス栓には、必ずガス栓キャップを取り付けてください。
- 日頃から、ガス栓や接続具のある場所を確認しておきましょう。

工事中はガス設備にご注意

改装や敷地内を掘る工事をされるときは、ガス事業者へご連絡ください。
安全に工事していただくために、アドバイスさせていただきます。
工事の際は、ガス設備に十分注意してください。

安全設備などは、ときどき作動点検を

ガス警報器は正しい位置に取り付けられていますか。
ガス警報器やガスを自動シャ断する安全装置などを、ときどき作動点検されていますか。
建物内の各テナントの方は、建物全体の安全設備についても、その設置場所や機能を確かめ、いざというときのために、操作方法や避難方法の訓練をしておきましょう。

特定地下街等・特定地下室等・超高層建物・特定大規模建物(業務用)

⑦ より安全性の高い機器へのお取替えをおすすめします

安全型機器へのお取替えをおすすめします

全ロセンサー搭載 センサーコンロ

現在製造されているガスコンロは、すべてのバーナーに、煮こぼれや点火ミスなどで火が消えたときにガスをストップする立ち消え安全装置、天ぷら油の温度が約250℃になると、ガスを止め火災を防止する調理油加熱防止装置、消し忘れ消火、早切れ防止機能など、安全便利機能を搭載しています。

不完全燃焼防止装置付 ガス小型湯沸器

ほこりによる熱交換器の目詰まりなどがあつたときに、炎の異常を検知し、自動的にガスを止めます。

不完全燃焼防止装置付 ガスファンヒーター

フィルターの目詰まりなどで新鮮な空気が不足したら、異常を検知し自動的にガスを止めます。

ヒューズガス栓へのお取替えをおすすめします

- 万一ゴム管がはずれたり、途中で切れたりしたとき、自動的にガスを止めます。
- 旧型ガス栓をお使いの皆さまは、ヒューズガス栓へのお取替えをおすすめします。

※新しく取り付けるガス栓はヒューズガス栓になっています。

古いタイプのゴム管(赤・青・絹巻ラセン管)のお取り替えをおすすめします

赤・青ゴム管のお取り替えをお願いします。

赤・青ゴム管にかわり、耐久性が向上したソフトコードが販売されています。現在ご使用の赤・青ゴム管は、早急にソフトコードにお取り替えください。

絹巻ラセン管のお取り替えをお願いします。

絹巻ラセン管にかわり、耐久性が向上したガスコードが販売されています。現在ご使用の絹巻ラセン管は、早急にガスコードにお取り替えください。

金網ストーブのご使用には注意が必要です

古い金網ストーブは、不完全燃焼により一酸化炭素(CO)中毒を起こす危険があります。一酸化炭素(CO)は強い毒性を持つ物質で、死につながる危険性があります。重大事故に至らないために、安心機能の付いたファンヒーターへのお取り替えをぜひお願いします。

不完全燃焼

こんな時は注意

金網部分の変形やほこりなどによる詰まりなどは不完全燃焼につながります。また、外観はきれいに見えても金網の変形や内部のほこり詰まりで不完全燃焼をおこします。おかしいな~?と思ったらご連絡を。



換気

必ず換気を

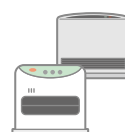
ストーブを使用する場合は30分に1回の換気が目安です。開放できない窓の部屋には、給排気口を設けるか、換気扇があれば、回してください。



安心機器

安心機器のおすすめ

不完全燃焼防止装置のついたガスファンヒーターなら安心です。ファンヒーターは異常を感じてガスを自動的にストップします。お年寄り、お子さまのいる家庭でも安心してご使用になります。



ガス機器のご使用、日常管理について

⚠️ ご注意

- ガス機器の安全なご使用、日常管理については、取扱説明書をよく読んでいただき、その内容を理解し、ご使用いただくことが大切です。
- ガス機器ご使用時に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な加熱、異音、排気口の周辺がすすけているなどがあれば、ただちに使用を中止し、ガス機器購入店または修理店にご連絡ください。

ガス小型給湯器

熱交換器の目詰まりなど、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒の原因となる場合があります。時々上部(防熱板の下)に汚れや詰まりがないかチェックしてください。上部に汚れや詰まりがある場合や使用中に火が消える場合は、販売店に点検・修理(有償)をお申込みください。

ガステーブルコンロ

バーナーが目詰まりしたまま使うと不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒の原因となる場合があります。時々器具ブラシなどでお掃除をしてください。

ガスふろがま

空だきに注意しましょう。ガスふろがまや浴槽を傷めたり、火災の原因にもなります。また、ふろがまが水につかると故障の原因にもなります。

BF式風呂釜で何回も点火操作をしないと口火(たな火)がつかなくなった場合には、機器内に未燃ガスがたまり、爆発着火して損傷(変形)したり、大きな爆発音がするので大変危険です。点火しにくくなった場合には販売店に点検・修理をお申込みください。

ガス暖房機器

FF暖房機、ファンヒーターは裏側のエアフィルターのお掃除をしましょう。

もしものときの対応と注意点

① 地震の時は、身の安全を最優先に確保してください

① まずは身の安全を確保しましょう

まずは机の下に身を隠すなどをしてください。震度5相当以上の地震の場合は、ガスメーター(マイコンメーター)が自動的にガスをシャ断します。あわてず落ち着いて行動しましょう。

② 揺れがおさまったらガスの火を消してください。



③ 地震のあと、ガスをふたたびつかうとき

次のことを確認してください。
・ガス機器周囲でガスの臭いがしないか
・ガス機器本体に変形・破損など異常がないか
・煙突式などの屋内外の給排気設備に異常がないか
(はずれ・凹み・穴あきがないか目視で確認してください)
・ガス接続具が正しく接続されているか(接続具に外れがないか目視確認してください)

⑤ もしもガス臭いと感じたら

ガス警報器が作動したり、ガス臭いと感じたときはすぐにガス導管事業者へご連絡ください。

- お名前
- ご住所
- ご近所の目標
- その場の状況をお知らせください

裏表紙【ガスの緊急対応はこちら】
裏表紙に記載のガス漏れ通報連絡窓口にご連絡をお願いいたします。

ガス臭いと感じたときは

⚠️ 警告 火気厳禁

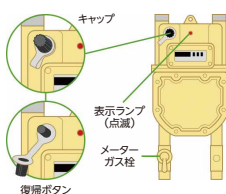
- 火気は絶対に使用しないでください。
- 着火源となる換気扇、電灯などのスイッチに絶対に手を触れないでください。
- 窓や戸を大きく開けましょう。
- ガス栓やメーターガス栓を閉めましょう



② マイコンメーターでガスが止まったときは、次のように対応してください

⚠️ 警告 ガス漏れの疑いもありますので、ガス臭くないか十分確認してください。ガス臭いときは、復帰の操作をしないですぐにガス導管事業者へご連絡ください。

復帰の手順(一般型マイコンメーターの場合)



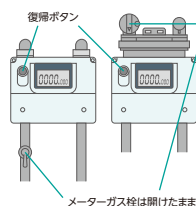
- ① 器具栓を閉じるか、運転スイッチを切り、すべてのガス機器を止めてください。屋外の機器も忘れずに。使っていないガス栓は閉まっていることを確認してください。このときメーターガス栓は閉めないでください。
- ② 復帰ボタンのキャップを手で左に回し、キャップを外してください。
- ③ 復帰ボタンを奥までしっかり押して、表示ランプが点灯したらすぐに手を離す。(復帰ボタンが元に戻り、赤ランプが再点滅します。その後、キャップを元に戻しておきます。)
- ④ 約3分間お待ちください。この間ガス漏れがないか確認していますので、ガスを使わないでください。3分経過後に、再度ガスメーターをご確認頂き、ランプの点滅が消えていれば、ガスが使えます。

マイコンメーターは、次のような場合にガスをシャ断します(赤ランプが点灯します)

- 大きい地震
- 多量のガス漏れ
- ガスの圧力低下
- 機器の長時間使用(お湯の沸かしすぎや鍋が焦げるのを防止するものではありません)

※3分経過後も、ガスが止まったままで赤ランプが点滅している場合は、ガス機器の止め忘れやガス漏れが考えられますので、もう一度ガス栓の閉め忘れやガス機器の止め忘れがないか確認してください。
※正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合はガス導管事業者へ連絡してください。

復帰の手順(通信機能付きマイコンメーターの場合【UH型】)



- ① 器具栓を閉じるか、運転スイッチを切り、すべてのガス機器を止めてください。屋外の機器も忘れずに。使っていないガス栓は閉まっていることを確認してください。このときメーターガス栓は閉めないでください。
- ② 復帰ボタン(黒、キャップなし)をしっかり押し、ゆっくりと手を離す。
- ③ 約3分間お待ちください。この間ガス漏れがないか確認していますので、ガスを使わないでください。3分経過後に、再度ガスメーターをご確認頂き、[ガス止]または[止]表示が消えていけば、ガスが使えます。

マイコンメーターは、次のような場合にガスをシャ断します(「ガス止」と表示されます)

- 大きい地震
- 多量のガス漏れ
- ガスの圧力低下
- 機器の長時間使用(お湯の沸かしすぎや鍋が焦げるのを防止するものではありません)

※3分経過後も、ガスが止まったままで「ガス止」または「止」が消えない場合は、ガス機器の止め忘れやガス漏れが考えられますので、もう一度ガス栓の閉め忘れやガス機器の止め忘れがないか確認してください。
※正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合はガス導管事業者へ連絡してください。

＼ ガスの緊急対応はこちら ／

ガス漏れ通報専用電話

24時間365日受付しております
(いくよ(194)24時間)

▶大阪市内
にお住まいの方

大阪事業部



0120-0-19424

▶大阪市以外の
大阪府南部・和歌山県
にお住まいの方

南部事業部



0120-3-19424

▶大阪市以外の
大阪府北部・奈良県
にお住まいの方(京都府の一部地域を含みます)

北東部事業部



0120-5-19424

▶兵庫県にお住まいの方
(大阪府・岡山県の一部地域を含みます)

兵庫事業部



0120-7-19424

▶京都府・滋賀県
にお住まいの方

京滋事業部



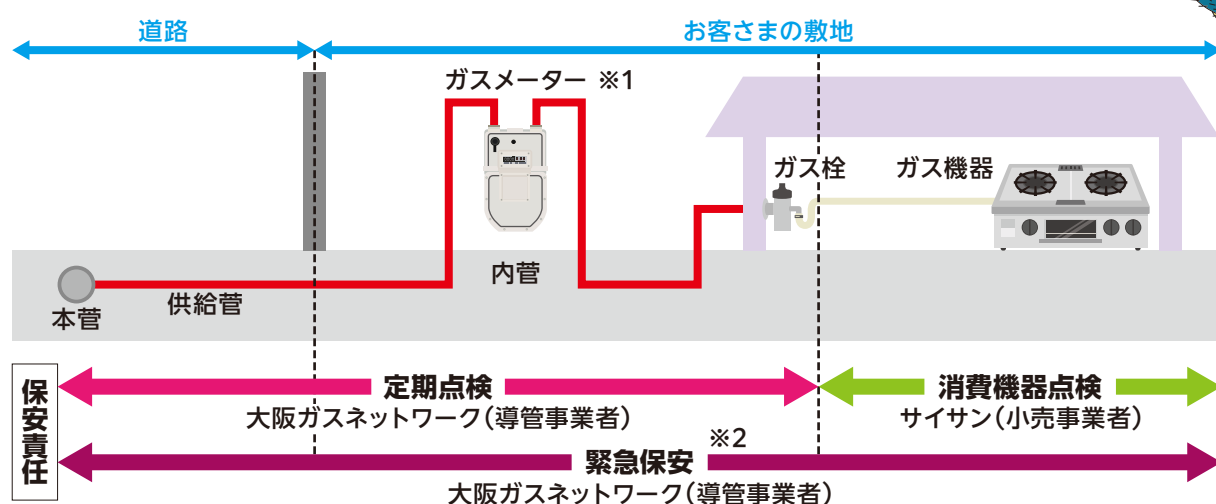
0120-8-19424

耳やことばの不自由なお客さまは
FAXでご連絡ください

(FAX)  **0120-6-19424**

火災発生時や火災警報器が鳴動している場合は消防(119番)へ通報してください。

※050番のみのIP電話などはNTTフリーダイヤルをご利用になれない場合があります。



※1 ガスメーターは導管事業者の資産です。 ※2 サイサンも、大阪ガスネットワークと連携・協力する体制となっています。

ガス導管事業者の主な保安体制

①365日・24時間保安体制
ガス漏れ、ガス事故などの緊急時に備えて、
係員と緊急車が常時待機しています。

②保守点検
法令に基づき定期的に、ガス漏れ点検を行っております。
※消費機器や給排気設備などの調査は、ガス小売事業者が行います。

